

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	障害児通所支援事業のんの ルーム 港店		
○保護者評価実施期間	R7年1月17日		~ R7年1月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	R7年1月17日		~ R7年1月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	R7年2月1日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子供の状況を常に保護者に伝えることができている。	連絡帳の活用と、送迎時の際保護者の方に当日の状況や困っていることなどを伺う。	保護者の方に直接事業所に来ていただき、支援の様子や子供の様子を見てもらい、より良い療育を図っていく。
2	個別支援計画等昨年12月からAIセラピストを使っての取り組みを始め、利用児の特性を踏まえてより良い支援を行っていく。	AIセラピストを取り入れ、保護者の方からも子供の特性に関する情報を沢山取り入れ新しい考えでの支援を行う。	新しい試みに保護者の方にも知ってもらい、今以上の情報、支援を図りたい。
3	郊外療育を沢山行い、他児との関わりや健康増進を図る。	利用児が2名と少ないため、室内の療育だけでなく公園など郊外療育を沢山行う。	郊外療育で知り合う他児との交流を図っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母会の活動支援や、保護者同士の交流の機会や兄弟・家族に向けたイベントの企画が少ない。	イベント等の企画は以前から春・秋の収穫イベントを行い、昨年からは駒場店と合同での家族参加のレクリエーションを企画したが、保護者の参加が少なくその場での交流が図れなかった。	仕事を持っていて参加できない保護者が多いので、長期休みを利用して、保護者が参加できるような企画を考えていきたい。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	障害児通所支援事業のんの ルーム 港店
------	---------------------

公表日 R7 年 2 月 27 日

利用児童数

2025/2/1 (2名)

回収数 2

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	100.00%					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	50.00%			50.00%		職員の配置数は確保できている。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	50.00%			50.00%		トイレなど設備構造上無理なところはあるが、手すりなど利用者に配慮しながらの設備充実を行っている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100.00%					
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100.00%					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	50.00%			50.00%		Aiセラピスト導入し個々の障がい等を考えて支援内容を作成している。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100.00%					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	50.00%			50.00%		適切な支援内容で設定している。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	50.00%			50.00%		支援計画に沿った支援に努めている。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	50.00%			50.00%		職員同士で話し合いを行い、支援プログラムが固定化されないように回っている。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。			50.00%	50.00%		直接の交流はないが、郊外療などで公園等に出かけたさい、交流を図っている。
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100.00%					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	50.00%		50.00%			保護者の方に「児童発達支援計画」の説明を行っている。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。			100.00%			家族に対しての研修は行ってないが、家族も参加できる行事を計画している。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	100.00%					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	50.00%			50.00%		定期的ではないが、送迎の際保護者様からお話を伺い、また必要に応じて支援ミーティングを行っている。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	50.00%			50.00%		共感していただけるような支援を目指したい。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。			50.00%	50.00%		保護者や兄弟が参加できる行事を開催し、交流の機会を設けている。
19 こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	50.00%			50.00%		子供や家族からの相談や申し入れの体制は整っており、送迎時に保護者との会話を通じて適切な対応を行っている	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100.00%					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	100.00%					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100.00%					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	50.00%			50.00%		個々のマニュアルは策定されており、利用開始の際、説明を行っている。発生を想定した訓練に関してはこれから考えていきたい。年3回の避難訓練の実施を行っている。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	50.00%			50.00%		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	50.00%			50.00%		安全計画の作成と職員間での周知も行っている。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から遅やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	100.00%					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	100.00%					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	100.00%					
	29	事業所の支援に満足していますか。	100.00%					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		障害児通所支援事業のんの ルーム 港店		公表日		R7 年 2 月 27 日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100.00%		活動に合わせて十分なスペースが確保されている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100.00%		職員の配置数は確保できている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	80.00%	20.00%	トイレなど設備構造上無理なところはありますが、手すりなど利用者に配慮しながら設備の充実を行っている。	すべてがバリアフリーではないが利用者に配慮しながら設備に対して工夫をしていきたい。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100.00%		活動に合わせた空間を作っている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100.00%		利用児の状態に合わせてクールダウンの部屋や、静かに勉強したいなどの要望に応じて部屋を用意できている。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100.00%		職員間での話し合いや状況提供を行っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100.00%		アンケートの内容を参考にし必要な業務改善を行う。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100.00%		朝礼の際意見を話し合い、それ以外にもお互いに意見を伝え合い、業務改善につなげている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100.00%		外部評価を参考にし業務改善に繋がるようにしている。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100.00%		研修会や勉強会に参加し、資質の向上や他事業所の職員との交流を図る。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100.00%		Aiセラピストを導入し作成・公表を行っている。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100.00%		Aiセラピストを導入し、保護者からのアセスメントシートでのニーズや課題を分析し児童発達支援計画を作成している。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100.00%		朝礼やその他の必要な会議で、子供の状況を職員間で共有し、共通理解のもと作成を行う。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100.00%		個別支援計画を職員間で共有し、計画に沿った支援を行っている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100.00%		確認し、必要に応じて話し合いを行う。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100.00%		必要な項目を選択し支援内容に設定している		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100.00%		全職員で活動内容を話し合い共有し活動プログラムを作成している。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100.00%		活動内容を固定化しないように話し合いを行う。		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100.00%		状態を確認しながらの対応を行う。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	80.00%	20.00%	朝礼等で打ち合わせができ、連携しての支援ができるように図っている。	勤務状態や利用児のお迎えなどを考慮しながら朝礼等で支援内容等を確認する。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	80.00%	20.00%	職員間で共有できるように努力している。	送迎等の関係で当日は無理なため、次の日の朝礼等で共有を図る。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100.00%		ケース記録に記載し、支援の検証・改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100.00%		定期的なモニタリングを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100.00%		児発管が参加しているが、必要に応じて他の職員も参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100.00%		連携の体制はできている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	60.00%	40.00%	現在併用利用している利用児はいないが、必要に応じて情報交換を行う。	必要に応じて情報交換などで相互理解を図ってきたい。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	20.00%	80.00%	必要に応じて情報交換を行っている。	コロナ以降直接訪問ができないので文書等による情報交換。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	100.00%		研修会や連絡会に参加し連携を図っている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	80.00%	20.00%	直接保育園等との交流はないが、郊外療育等で地域交流の場での交流を行う。	郊外療育などで公園等に行ったときなど、他児との関わりを図っている。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100.00%		連絡帳の記載や送迎時に保護者に丁寧に報告をしている。。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	80.00%	20.00%	必要に応じて出来る限り限り保護者の悩みや課題にも寄り添うようにしている。。	家族で参加できる行事を考え実行している。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100.00%		見学时、契約時に丁寧に説明を行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100.00%		AIセラピストでは保護者からアセスメントシートを基に作成、子供や家族の意向も確認する。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100.00%		同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100.00%		定期的ではないが、必要に応じて支援を行っている。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	80.00%	20.00%	年に数回の活動を企画するが、諸事情により参加していただける保護者が少ないが、引き続き交流する機会を設ける。	家族で参加できる行事の企画は行っている。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100.00%		担当職員が速やかに対応を行っている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100.00%		行事予定などプリントで、またブログを活用して情報を発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100.00%		同意書を取り交わし職員一同十分に注意を行っている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100.00%		理解が得られるように伝達方法を心掛けている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	60.00%	40.00%	コロナが以降連携をとることは難しくなっている	七夕や町会の祭りなどに参加できるように交流を考えている。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100.00%		マニュアルを作成し、保護者や職員に周知し年に3回の避難訓練も実施している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100.00%		定期的に年3回の避難訓練を実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100.00%		契約時の際保護者から聞き取りを行い、新たな服薬等が始まった時は再度保護者から聞き取りを行う。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	80.00%	20.00%	契約時に保護者から聞き取りを行う。	契約時に聞き取りを行った事柄を職員間で共有する。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100.00%		安全計画作成済みであり、必要な研修や訓練を行っている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100.00%		子供の安全計画について作成済みなので、季節ごとの安全計画もあるためその都度家族に周知していく。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100.00%		記録に掲載すると共に報告書を作成し、職員間で再発防止に向けて検討を行っている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100.00%		研修参加や所内勉強会を実施している。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100.00%		身体拘束の同意書を作成し、保護者に説明後同意を図る。		